

インフラ短信

2022年4月

インフラ及びエネルギー短信4月号をご覧ください。今月号では、公共照明の新たな公告、港湾入札結果及び道路新規プロジェクトなどのニュースをお届けします。

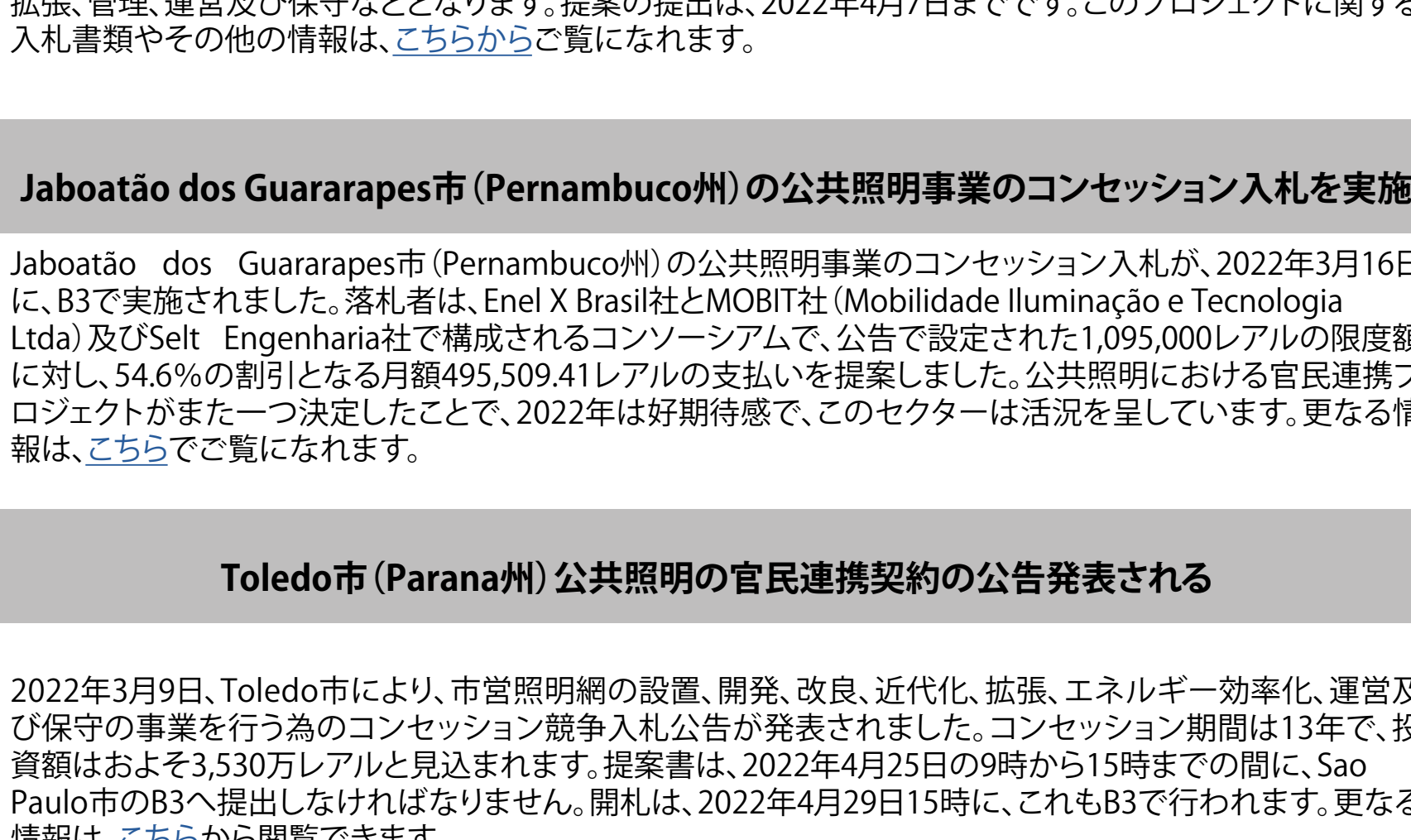


IMAGEM: LINH LE

公共照明

Barreiras市 (Bahia州)、公共照明事業コンセッションの公開協議を開催し、公聴会を実施

Barreiras市は、2022年3月7日に、公共照明事業のコンセッションの入札工程に影響を与える技術的書類の改善の為に公開協議を開催しました。このプロジェクトは、同市の公共照明システムの近代化、効率化、拡張、管理、運営及び保守などとなります。提案の提出は、2022年4月9日までです。このプロジェクトに関する入札書類やその他の情報は、[こちらから](#)ご覧いただけます。

Jaboatão dos Guararapes市 (Pernambuco州) の公共照明事業のコンセッション入札を実施

Jaboatão dos Guararapes市 (Pernambuco州) の公共照明事業のコンセッション入札が、2022年3月16日に、B3で実施されました。落札者は、Enel X Brasil社とMOBIT社 (Mobilidade Iluminação e Tecnologia Ltda) 及びSelt Engenharia社が構成されるコンソーシアムで、公告で設定された1,095,000レアルの限度額に対し、54.6%の割引となる月額495,094.1レアルの支払いを提案しました。公共照明における官民連携プロジェクトがまた一歩決定したことで、2022年は好期待感で、このセクターは活況を呈しています。更新の情報は、[こちら](#)でご覧いただけます。

Toledo市 (Paraná州) 公共照明の官民連携契約の公告発表される

2022年3月9日、Toledo市により、市営照明網の設置、開発、改良、近代化、拡張、エネルギー効率化、運営及び保守の事業を行う為のコンセッション競争入札公告が発表されました。コンセッション期間は13年で、投資額はおよそ3,530万レアルと見込まれます。提案書は、2022年4月25日の9時から15時の間に、São Paulo市のB3へ提出しなければなりません。開札は、2022年4月29日15時に、これもB3で行われます。更新の情報は、[こちら](#)から閲覧できます。

Camaçari市 (Bahia 州)、公共照明の官民連携コンセッション契約公告を発表

Camaçari 市役所は、2022年3月10日に、13年の期間での公共照明事業のコンセッション方式での官民連携契約の公告を発表しました。書類及び提案書は、São PauloのB3へ、2022年4月25日9時から12時までの間に、提出しなければなりません。開札は、これもまたB3で、2022年4月29日に行われます。審査基準は、自治体から運営する民間企業へ支払われる最大月間金額が最小となることであります。入札書類は、[こちら](#)で閲覧出来ます。

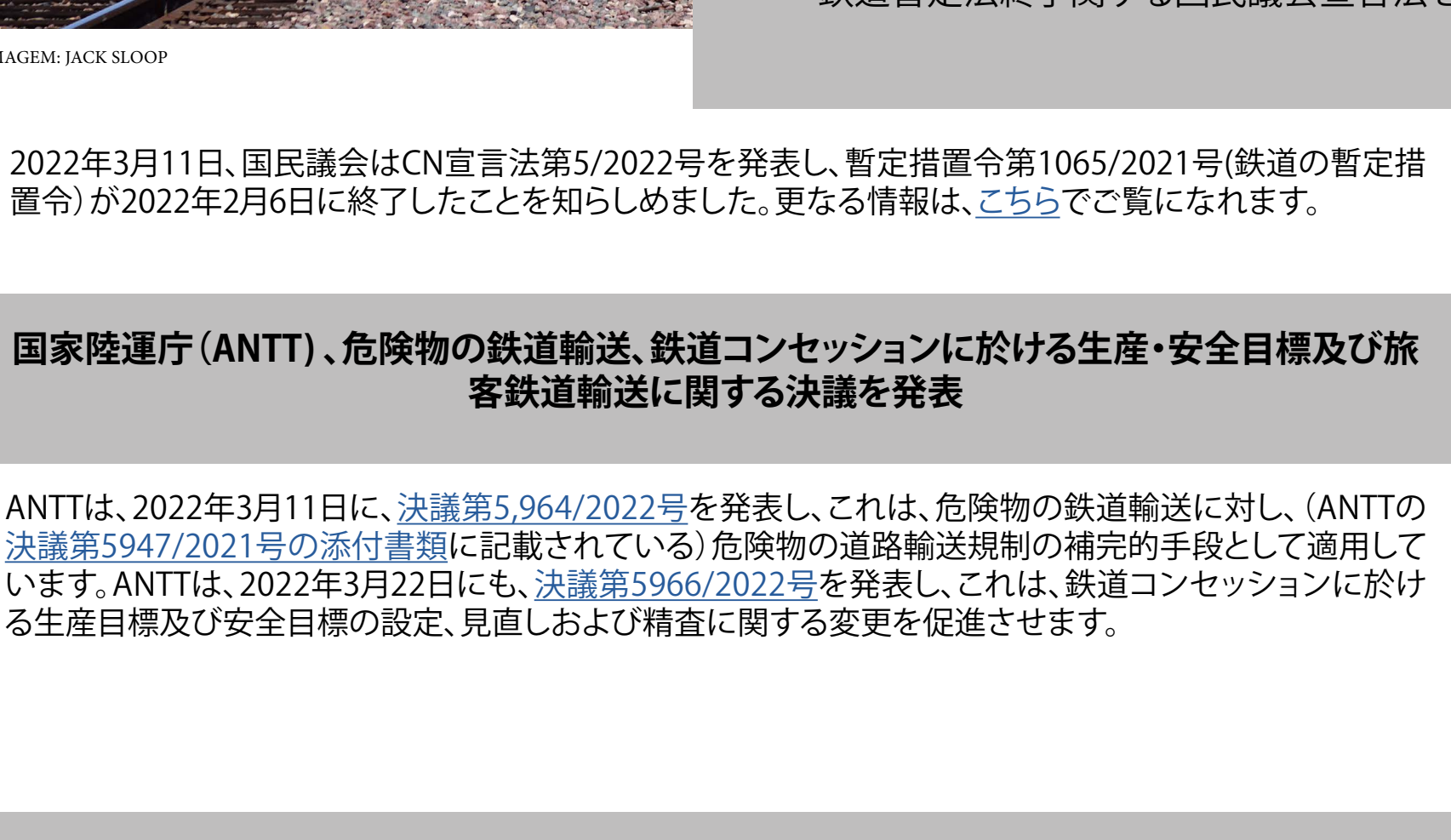


IMAGEM: MATTHEW HENRY

エネルギー

国家電気エネルギー庁 (ANEEL) は、配電会社への新規融資を承認

国家電気エネルギー庁理事会は、2022年3月15日に、電気セクターに対する総額53億レアルにのぼる新規融資を承認しました。暫定措置法第1,078/2021号及び政令第10,939/2022号で認められたこの資金は、ブラジルが深刻な水不足に直面した2021年のエネルギー供給での失敗を回避する目的で採用された対策をカバーするのに充てられます。

政府が発表した暫定措置令によれば、同セクターへの2回目の移転は52億レアルと算定され、融資総額は最大105億レアルまでになる見通しです。しかし、この金額は、まだANEELで承認されておらず、日程未定の公開協議に紐づくことになります。この部分は、昨年実施されたエネルギーの緊急購入コストの一部に充てられます。

ANEEL、太陽光発電の実施スケジュール見直し規準を定める

2022年2月8日、ANEEL は、既に契約調印が済んでいる送電システム利用契約(CUST)の発効初日を変更することなく、太陽光発電の実施スケジュールの変更を承認しました。スケジュール変更の効果は、工事開始の証明、株式コントロールの移転シナリオにおけるコンプライアンス保証の証明、設置許可の発行、関連契約の署名などが条件となります。

この規準は、特に、組織の支配権変更手続き下にある発電所の将来申請されるスケジュール変更の先例となります。

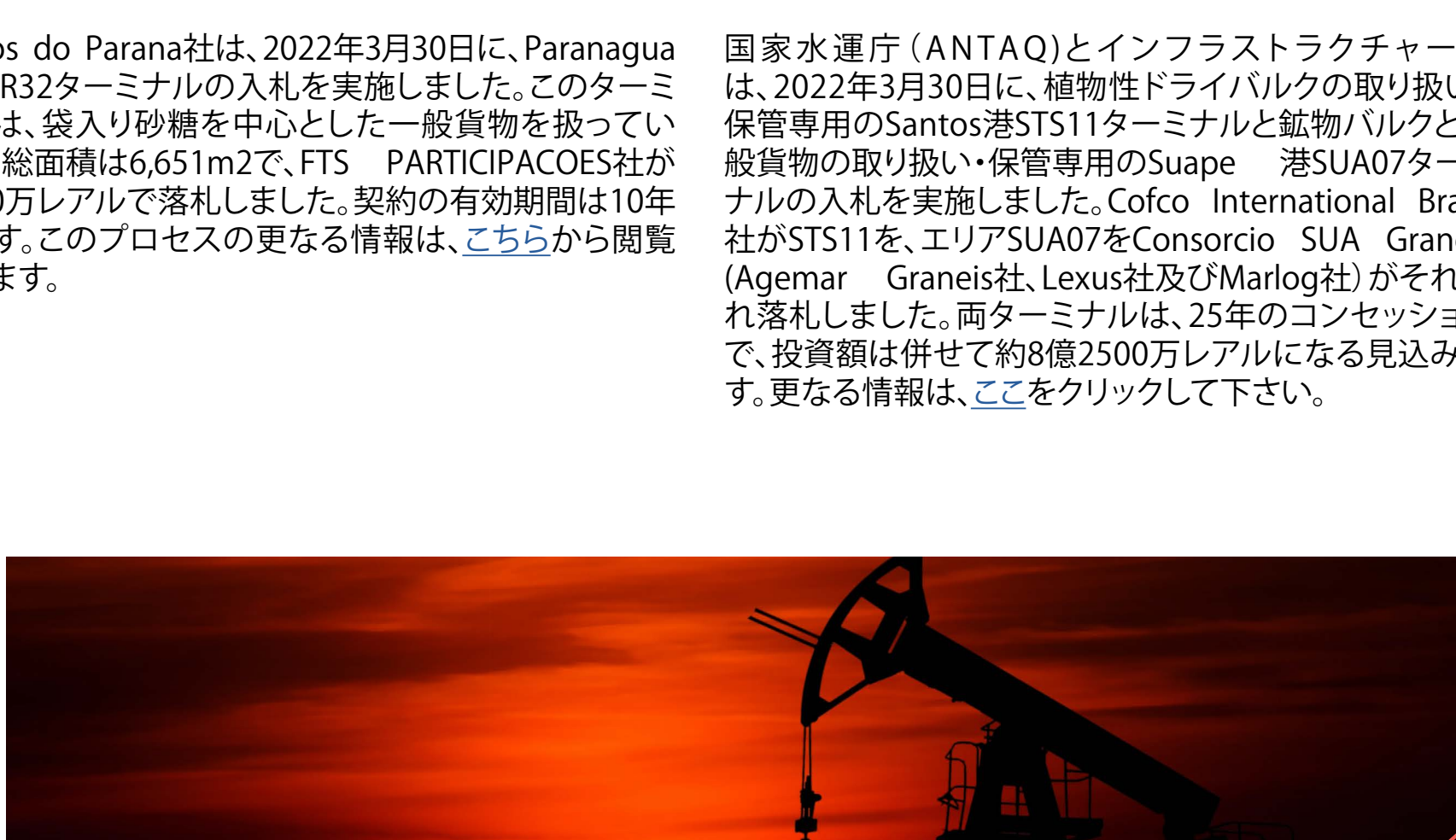


IMAGEM: JACK SLOOP

鉄道

鉄道暫定法終了に関する国民議会宣言法を発表

2022年3月11日、国民議会はCN宣言法第5/2022号を発表し、暫定措置令第1065/2021号(鉄道の暫定措置令)が2022年2月6日に終了したことを知らしめました。更新の情報は、[こちら](#)でご覧いただけます。

国家陸運庁 (ANTT)、危険物の鉄道輸送、鉄道コンセッションに於ける生産・安全目標及び旅客鉄道輸送に関する決議を発表

ANTTIは、2022年3月11日に、[決議第5,964/2022号](#)を発表し、これは、危険物の鉄道輸送に対し、(ANTTIの[決議第5947/2021号の添付書類](#)に記載されている) 危険物の道路輸送規制の補完的手段として適用しています。ANTTIは、2022年3月22日にも、[決議第5966/2022号](#)を発表し、これは、鉄道コンセッションに於ける生産目標及び安全目標の設定、見直しおよび精査に関する変更を促進させます。

ANTT、旅客鉄道輸送規定する決議を発表

2022年3月11日に、旅客鉄道輸送に関する[決議第5974/2022号](#)が発表されました。この決議は、利用者の権利、発券、無償・払い戻し・遅延の可能性及び観光、歴史・文化や記念目的の輸送サービス認可に関する規則を定めています。

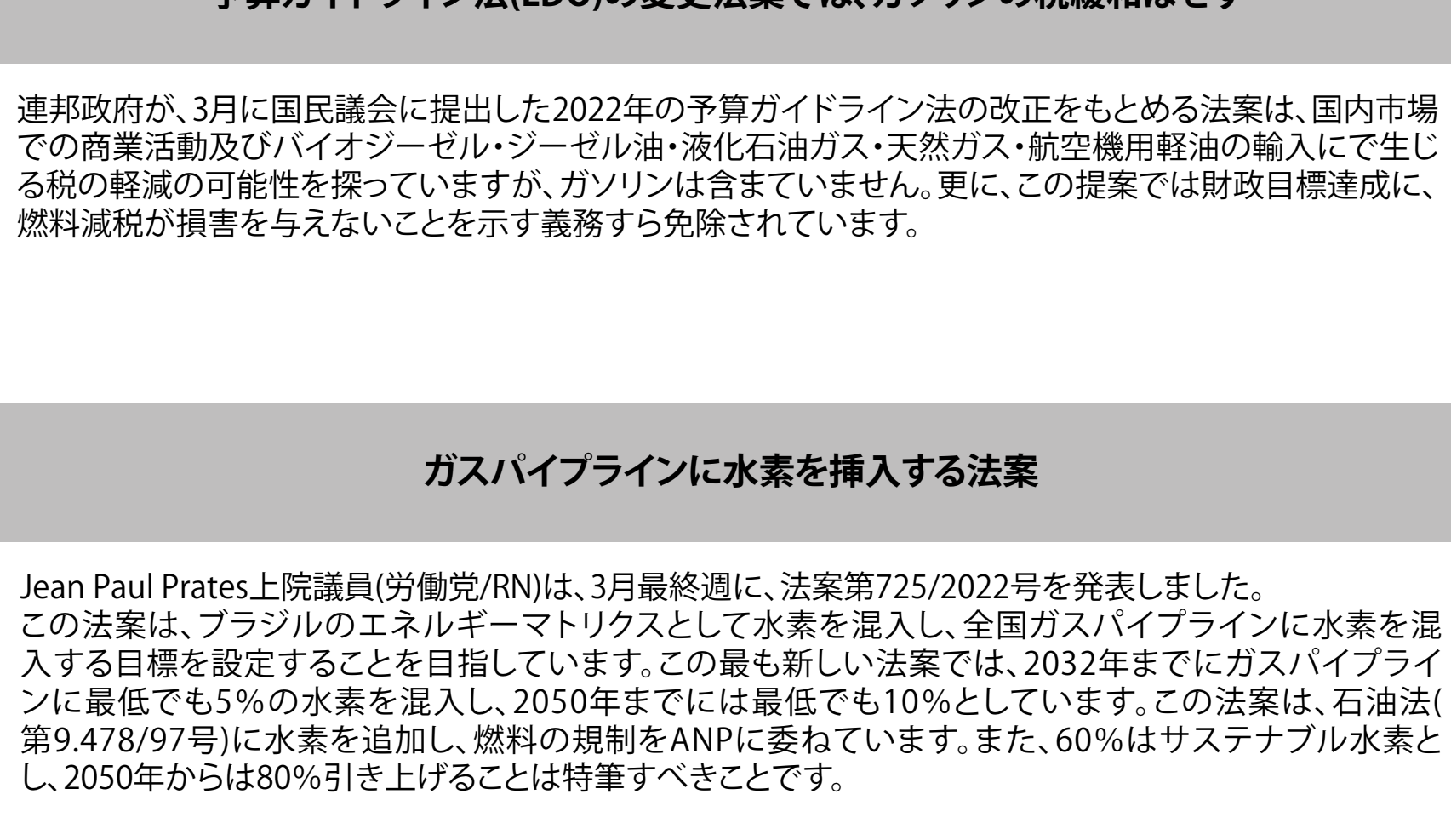


IMAGEM: RONAN FURUTA

港湾

Companhia de Docas do Espírito Santo (CODESA) 入札で、Victoria港及びBarra do Riacho港の民営化が完了これは、ブラジルで最初の民営化

CODESAが、2022年3月30日、São Paulo市のB3で行った入札で、Quadra Capital社の子会社である投資株式会社Fund. Shelf119 Multiestragiasが、Vitoria港とBarra do Riachomina港のコンセッションを落札しました。落札価格は、初期支払いが1億600万レアルで、年間支払金は25年間で総額1億8600万レアルになり、3億2600万レアルでCODESAの株式を取得し、35年間のコンセッション期間に亘り8億5500万レアルを投資するというものです。これは、ブラジルで行われた港湾民営化の最初のプロセスです。更新の情報は[こちらとこちら](#)から得られます。

Paranaguá港 (Paraná州) PAR32エリアのコンセッション入札実施される

Santos港 (São Paulo 州) 及びSuape 港 (Pernambuco州) のエリアのコンセッション入札

Portos do Paraná社は、2022年3月30日に、Paranaguá港PAR32ターミナルの入札を実施しました。このターミナルは、袋入り砂糖を中心とした一般貨物の取り扱い、2021年末に海運した税制優遇措置であるRota do Oesteの復活に関するものでした。この他、海上運賃算出規準に関連する商船の改修に伴う追加運賃 (AFRMM) を徴収した条項も行使した。この他、海上運賃算出規準に、既に下院では、拒否権に対する否決が377票、拒否権行使賛成が6票でした。

国家水運庁 (ANTAQ) とインフラストラクチャー省は、2022年3月30日に、植物性ドライバルクの取り扱い・保管専用のSantos港STS11ターミナルと鉱物バリエーションと一般貨物の取り扱い・保管専用のSuape 港SUA07ターミナルの入札を実施しました。Cofco International Brasil社がSTS11を、エリアSUA07をConsortio SUA Graneis (Agemar Graneis社、Lexus社及びMarlog社) がそれぞれ落札しました。両ターミナルは、25年のコンセッションで、投資額は併せて約8億2500万レアルになる見込みです。更新の情報は、[ここ](#)をクリックして下さい。

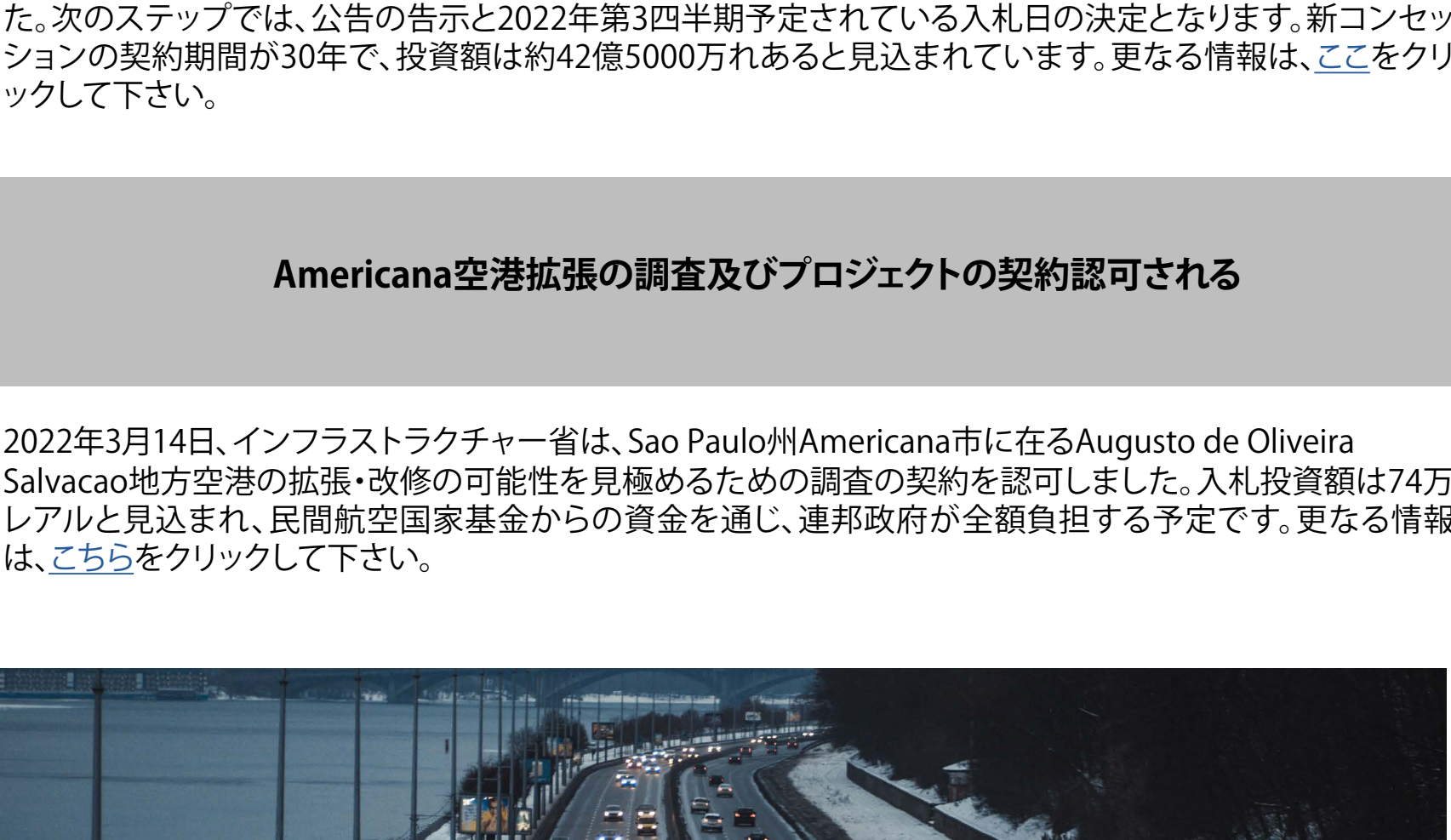


IMAGEM: ZYNER BURVAL

原油及びガス

BR do Marプログラム関連の9拒否権屈がえされる

国民議会は、2022年3月17日、法令4199/2020号プロジェクトへの大統領が行使した14拒否権のうち9拒否権を無効としました。この法令は、BR do Marと行使した拒否権は、天然ガス輸送活性化プログラムを創設する法令14,301/2022号の起源となったものです。否決された主な拒否権の一つは、港湾クータに保証される2021年末に海運した税制優遇措置であるRota do Oesteの復活に関するものでした。この他、海上運賃算出規準に関連する商船の改修に伴う追加運賃 (AFRMM) を徴収した条項も行使した。この他、海上運賃算出規準に、既に下院では、拒否権に対する否決が377票、拒否権行使賛成が6票でした。

Itaboraí-Guapimirimガスパイプライン(Gasig)の輸送能力増大の公開協議が承認される

国家石油・天然ガス・バイオ燃料庁 (ANP)は、2022年3月17日、Nova Transportadora do Sudeste社 (NTS) が建設することになっているItaboraí-Guapimirimガスパイプライン、いわゆるGasig、の天然ガス輸送能力増大契約の公募公告の公開協議を実施承認しました。このプロジェクトは、11kmの延長・公称能力1,820万m³/日で、Gaslub Itaboraíで処理された天然ガスを全国国ガスパイプラインに接続することを想定しています。公開協議の提案期間は、3月25日から4月8日までの15日間で、その後、公募はNTSにより間接的に行われます。

予算ガイドライン法(LDO)の変更法案では、ガソリンの税緩和はせず

連邦政府が、3月に国民議会に提出した2022年の予算ガイドライン法の改正案とともする法案は、国内市場での商業活動及びバイオエタノール・液化石油ガス・天然ガス・航空機用軽油の輸入に生じる税の軽減の可能性を探っています。ガソリンは含まれていません。更に、この提案では財政目標達成に、燃料減税が損害を与えないことを義務づけられています。

ガスパイプラインに水素を挿入する法案

Jean Paul Prates上院議員(労働党/RN)は、3月最終週に、法案第725/2022号を発表しました。この法案は、ブラジルのエネルギーマトリクスとして水素を混入し、全国ガスパイプラインに水素を混入する目標を設定することを目指しています。この最も新しい法案では、2032年までにガスパイプラインに最低でも5%の水素を混入し、2050年までに最低でも10%を想定しています。この法案は、石油法(第9,478/97号)に水素を追加し、燃料の規制をANPに委ねられています。また、60%はサステナブル水素とし、2050年からは80%引き上げることが特筆すべきことです。



IMAGEM: PASCAL MEIER

空港

Viracopos空港の再入札

2022年3月8日、国家民間航空局(ANAC)は、Campinas市に在るViracopos空港再入札のコンセッション公告・契約のそあを承認し、連邦会計検査院審査を受けるため、それぞれの調査をした書類を送付しました。次のステップでは、公告の告示と2022年第3四半期までに完了する入札日の決定となります。新コンセッションの契約期間が30年で、投資額は約42億5000万レアルと見込まれています。更新の情報は、[ここ](#)をクリックして下さい。

Americana空港拡張の調査及びプロジェクトの契約認可される

2022年3月14日、インフラストラクチャー省は、São Paulo州Americana市に在るAugusto de Oliveira Salvaço地方空港の拡張・改修の可能性を見極めるための調査の契約を認可しました。入札投資額は749万レアルと見込まれ、民間航空国家基金からの資金を通じ、連邦政府が全額負担する予定です。更新の情報は、[こちら](#)をクリックして下さい。

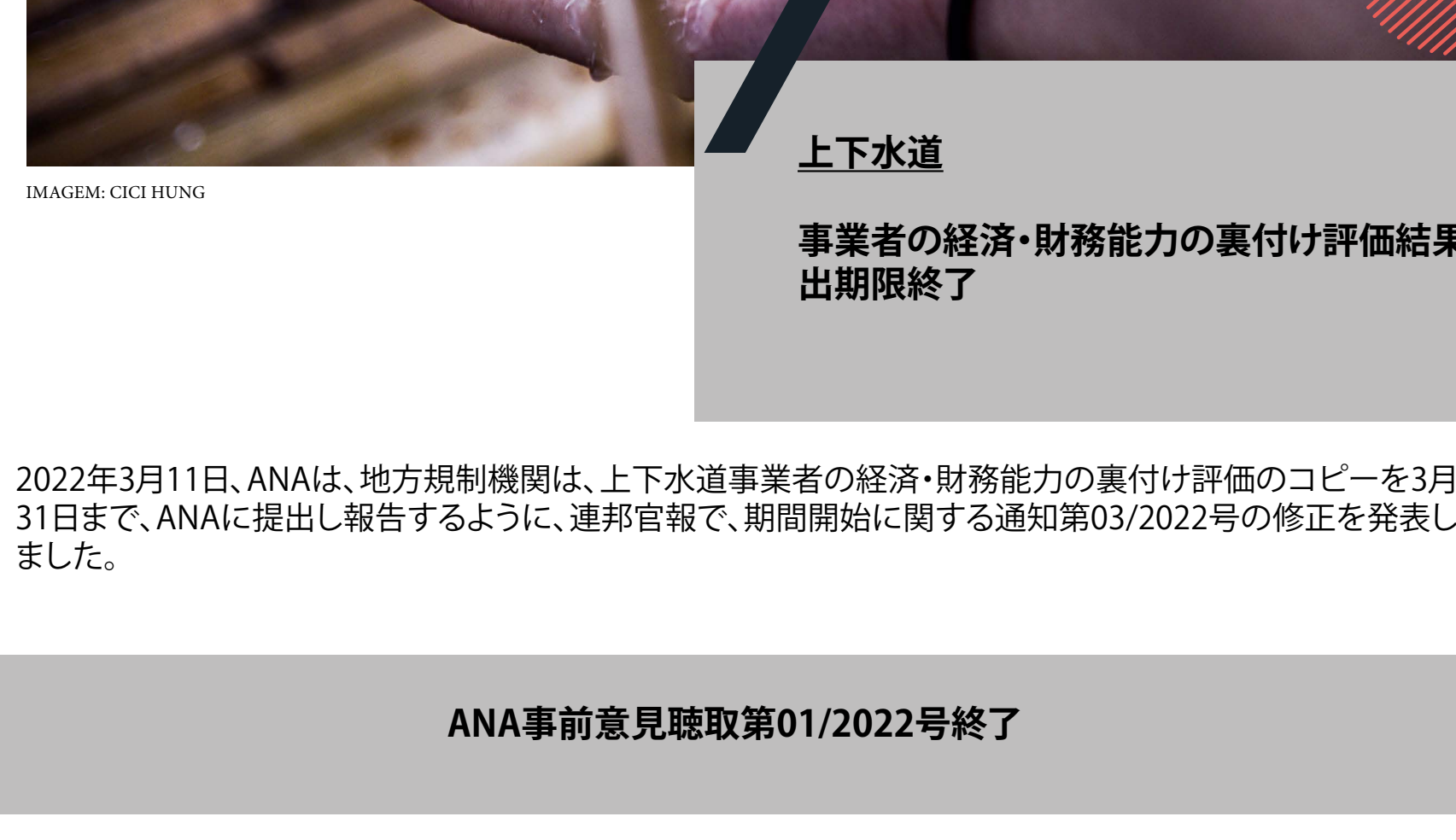


IMAGEM: NICOLA MARKELOV

道路

道路BR-101/RJの再入札が許可

ブラジル連邦大統領は、政令11,005/2022号で、投資パートナーシッププログラムのために、国道BR-101線RJ区間の再入札に許可を出しました。Rio de Janeiro州とEspírito Santo州との境界にPresidente Costa e Silva橋までの区間で、総延長320.1kmです。再入札の他のコンセッション引き渡し申請は、大統領合意表明の前に、ANTT、インフラストラクチャー省及び投資パートナーシッププログラムの評議会で、事前に分析されました。更新の情報は、[こちら](#)をクリックして下さい。

国道BR-163/MTの再入札

Rio Grande do Sul州の道路コンセッション入札が4月に実施予定

2022年3月10日、ANTTIは、Mato Grosso州の穀物流通に重要な道路区間とBR-163/MTの再入札を承認しました。この道路管理に責任のあるコンセッション事業調査員であるRota do Oeste社は、2014年にコンセッション/返還の新訟を起しました。再入札プロセスは、PPI評議会の評価と構造的・経済的な実現可能性の念入りな調査をするためにあります。更新の情報は、[こちら](#)をクリックして下さい。

Rio Grande do Sul州の271.5kmの道路区間(ブロック)コンセッション入札が、2022年4月13日に行われます。公告によれば、提案書の審査規準は、入札者が提示する最小の通行料金となります。コンセッションで見込まれる投資額は34億レアルです。広告及び契約書草案はこの[リンク](#)で閲覧可能です。

Minas Gerais州の道路コンセッションプログラムの最初の2区画の入札

2022年3月15日、Minas Gerais州インフラ・モビリティ局は、第1区画(三角Minas)及び第2区画(南Minas)の入札実施日を2022年7月21日に延期すること、通知しました。コンセッションは、38自治体にまたがり、総延長1,100kmになります。スタディによれば、この2区画には、30年のコンセッション期間に亘り、45億レアルの投資が見込まれます。プロジェクトの更新の情報は、[リンク](#)及び[リンク2](#)にアクセス下さい。

Fortaleza大都市圏弓状道路コンセッションの公聴会

2022年3月11日に、Fortaleza大都市圏弓状道路コンセッションに関し、同セクターの業者提案を集めるために、公聴会を実施しました。この基金は、コンセッション及び官民連携の構築と開発、保証人証書による草案を公開協議に提出しました。この基金は、コンセッション及び官民連携の構築と開発、保証人証書によるリスクカバーを支援する目的で、北部・北東部・中西部地域プロジェクトを優先します。

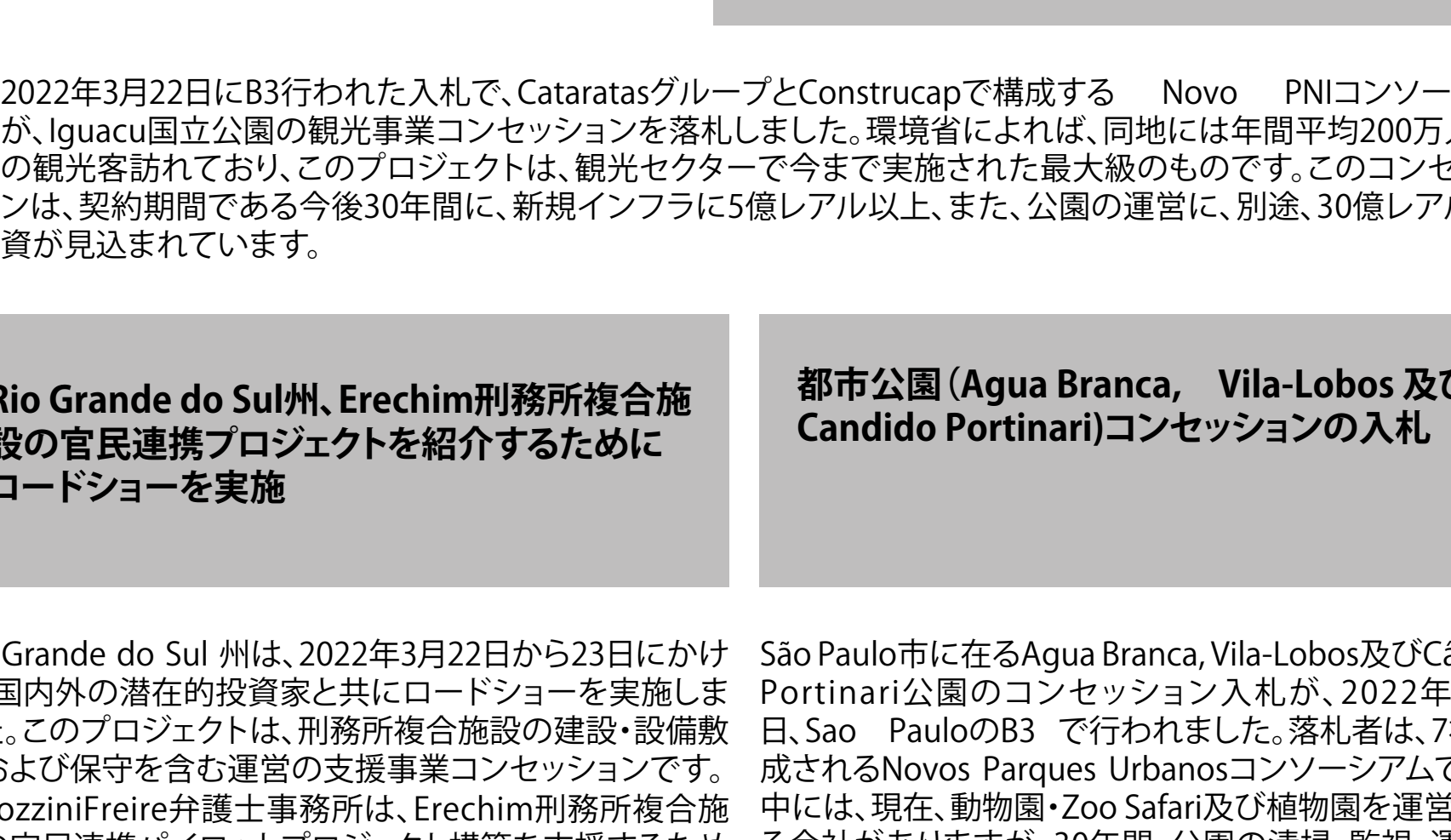


IMAGEM: JARED MURRAY

都市モビリティ

Rio de Janeiro市、公共交通発券の入札を行う

Rio de Janeiro市は、同市の公共交通のデジタル発券のコンセッション競争入札の公告を発表しました。この契約は、同市が所有する全ての公共交通機関のデジタル発券システムの組織化・運営業務遂行を目的としており、金額は10億レアルに達する見込みで、期間は12年です。資格書類と提案書の入札封筒は、2022年5月24日11時に、Rio de Janeiro港湾地域開発会社で行われる公開セッションで提出しなければなりません。判定規準は、5,258,672.41レアルを下限とし、コンセッションの最高額のオファーとなります。更新の情報は、[こちら](#)から閲覧できます。また、このプロジェクトの最高額のオファーとなります。

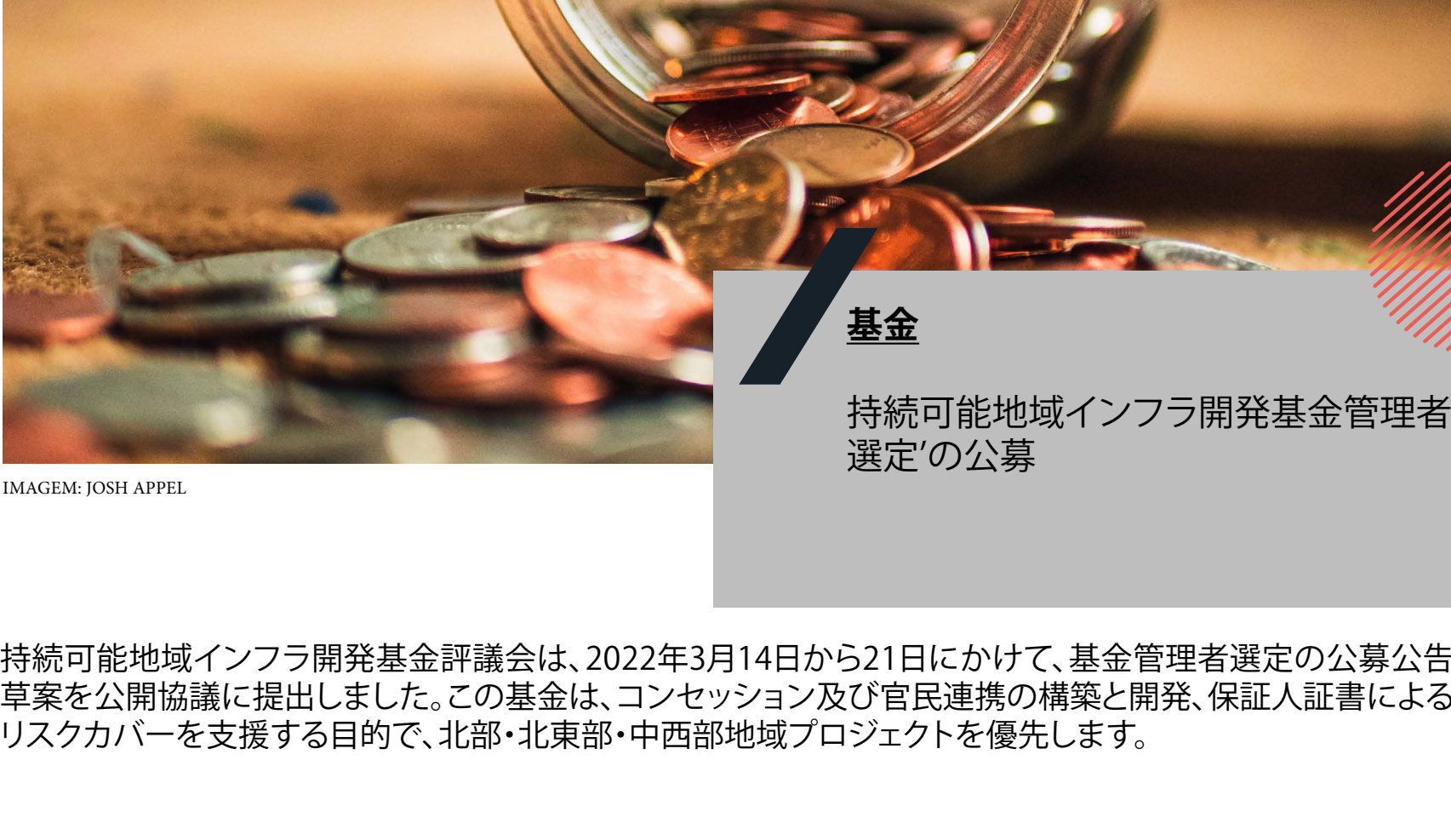


IMAGEM: CICI HUNG

上下水道

事業者の経済・財務能力の裏付け評価結果の提出期限終了

2022年3月11日、ANAは、地方規制機関は、上下水道事業者の経済・財務能力の裏付け評価のコピーを3月31日まで、ANAに提出し報告するように、連邦官報で、期間開始に関する通知第03/2022号の修正を発表しました。

ANA事前意見聴取第01/2022号終了

2022年3月13日、既存契約の上下水道セグメントの料金規制モデルに関連する規則の精緻化のための提案を集めた事前意見聴取が終了しました。事前意見聴取の目的は、料金規制モデルの規則化決定支援のほかに、規制インパクト分析の精緻化支援となります。更新の情報は、[ここ](#)をクリックして下さい。



IMAGEM: CLAUDIO SCHWARZ

固形廃棄物

Ceara州固形廃棄物政策が公聴会で議論される

Ceara州環境局(SEMA)は、2022年3月28日に実施された公聴会で、固形廃棄物の州政策ガイドラインを発表しました。今後、「固形廃棄物管理の公共政策と公共コンソーシアム」というテーマで、Ceara州のさまざまな自治体で更に11回の公聴会が開かれる予定です。より知るためには、[ここ](#)をクリックして下さい。

São Paulo州における技術協力の協定書締結

São Paulo州インフラ・環境局(SIMA)は、EZUTE財団と固形廃棄物管理・運営に関する技術協力協定書に調印しました。この協定書は、2022年3月23日に調印され、São PauloのB3へ州の自治体間コンソーシアムの範囲で、コンセッション及び官民連携を構築することを目的としています。より知るためには、[ここ](#)をクリックして下さい。

IMAGEM: MELI BENNA

社会インフラ

Novo PNIコンソーシアムがIguacu国立公園のコンセッションを落札

2022年3月22日にB3行われた入札で、CataratasグループとConstrucapで構成する Novo PNIコンソーシアムが、Iguacu国立公園の観光事業コンセッションを落札しました。環境省によれば、同地には年間平均200万人以上の観光客訪れており、このプロジェクトは、観光セクターで今まで実施された最大級のものです。このコンセッションは、契約期間である今後30年間に、新規インフラに5億レアル以上、また、公園の運営に、別途、30億レアルの投資が見込まれています。

Rio Grande do Sul州、Erechim刑務所複合施設の官民連携プロジェクトを紹介するためにローショーを実施

都市公園 (Água Branca, Vila-Lobos 及び Candido Portinari)コンセッションの入札

Rio Grande do Sul 州は、2022年3月22日から23日にかけて、国内外の潜在的投資家と共にローショーを実施しました。このプロジェクトは、刑務所複合施設の建設・設備・設備および保守を含む運営の支援事業コンセッションです。その際TozziniFreire弁護士事務所は、Erechim刑務所複合施設の官民連携パイロットプロジェクト構築を支援するために、BNDESに契約されたコンサルタントコンソーシアムの一員です。

São Paulo市に在るÁgua Branca, Vila-Lobos及びCândido Portinari公園のコンセッション入札が、2022年3月31日、São PauloのB3で行われました。落札者は、7社で構成されるNovos Parques Urbanosコンソーシアムで、その中には、現在、動物園・Zoo Safari及び植物園を運営している会社がありますが、30年間、公園の清掃・監視・運営・保守及び経済開発の責任があります。コンセッション事業者は、入園料は徴収できませんが、不動産のレンタル、イベント、フードオースクからの収益など、公園での商業活動は許可されます。また、新規コンセッション事業者は、理事会計計画に従う義務があり、特にÁgua Branca公園の場合、その場所の歴史的特徴を保存する必要があります。

IMAGEM: JOHN APPEL

基金

持続可能地域インフラ開発基金管理者選定の公募

持続可能地域インフラ開発基金評議会は、2022年3月14日から21日にかけて、基金管理者選定の公募公告草案を公開協議に提出しました。この基金は、コンセッション及び官民連携の構築と開発、保証人証書によるリスクカバーを支援する目的で、北部・北東部・中西部地域プロジェクトを優先します。

IMAGEM: TOZZINI FREIRE

Newsletter content produced by TozziniFreire's Infrastructure & Energy team

Partners responsible for the content:

- ✉ Ana Carolina Cali
- ✉ Caio Loureiro
- ✉ José Augusto Dias de Castro
- ✉ Jun Makuta
- ✉ Karim Yamauti Hatanaka
- ✉ Leonardo Miranda
- ✉ Marcelo Zenkner

www.tozzinifreire.com.br